



# ぼらんていあ通信

4月号  
通巻 No.485

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年4月26日  
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内  
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

## 2022年総会に当たって

会長 高橋 功



2019年(以後19年と記載します)11月に中国武漢で発生した「コロナウイルス感染症が日本で蔓延し始め、20年4月7日に緊急事態宣言が発令されました。22年総会に当たって、この2年間の当協会の活動について振り返ってみます。

まず、「総会」は会員の議決権行使の後、20年は正副会長、21年は新旧理事で開催しました。「理事会」は24回のうち正副会長会4回、Zoomによるもの1回でした。

20年4月の宣言の後5月31日まで「ハンディキャプ活動」、「傾聴活動」は中止し「事務所」も閉鎖しましたが、8月以降は原則フクチン2回接種の会員の活動と利用者も2回の接種を条件として活動しました。「事務局」はフクチン2回の条件を付けたこともありましたが20年10月以降は無条件で出勤しました。「広報」のほう

については「通信」は緊急事態やまん延防止等の時も知恵を絞って発信し続けました。

「交流事業」では「相模原市民校まつり」「ボウリング大会」は両方とも中止となりました。20年10月の「ほかほかふれあいフェスタ」は中止しましたが、ホール出場予定のグループの演目をDVDに収め皆で共有しました。その時発足したDVD制作実行委員会は今も活動しています。

「講座」委員会は20年に「会わなくてもできるボランティア」からイベントを得たZoomの使い方を勉強し、Zoom会議を開き、又、21年3月にはZoom講座も開催しました。22年3月の春講座は「市のSDGs」をテーマにして講座を開催しました。その他の事業もコロナ禍中、本当に頑張ってきたと思います。

22年の総会は久しぶりに会員もこの総会が開けることを楽しみにしております。



\*会員の皆さまには、ぼらんていあ通信の他に2022年度通常総会開催の案内やおおむね総会議決事項書、総会出席返信様書、記念誌「40年のあゆみ」が回封されています。ご確認やお問い合わせ願っています。  
\*通常総会の詳細なご案内は、4ページの掲載しております。

## 読んでいただく「記念誌」

DVD制作実行委員会 委員長 西本 敬



今回はぼらんていあ通信でも会員の皆様には記念誌「40年のあゆみ」をお届けしました。私たちのボランティア協会が任意団体として誕生して以来の歴史を振り返ることが出来る縁(よすが)として、親しんでいただければ幸いです。

DVD制作実行委員会は協会活動やボランティア活動についての動画を中心に情報発信の目的として、2020年度に発足した新しい委員会であり、今まで、ほかほかふれあいフェスタの動画番組、協会全体を紹介する番組、そしてハンディキャプ活動の紹介番組などを制作してきました。それらは主催する講座などで利用されてきました。その委員会からの「40年のあゆみ」を企画・編集するようになったのは、臨時の短期間で達成すべきの事業にびったりのメンバーが集まっていたからだと思います。私自身、設立以来の会員として、大きな関心を持って取組むことが出来ました。

見ていただくかわかりますが、表紙とカラー写真部分は外注印刷で、他はリンクアップによる印刷と手作り製本となっております。手作りについては委員会メンバーや理事メンバーの協力で仕上げることができました。

全体を通して、協会の活動内容をまよひでお知らせする40年の歴史を年表「まよひのまよひ」の主眼がおかれています。つまり、活動の歴史を資料としてまとめるという力点があります。皆様、そういつつも是非、記念誌を見ていただき、これからの新しい歴史を、自分も参加して作っていかんたいいとお気持ちで、今後の活動に取組んでいただいきたいと思います。

ボランティア見本市 - Party  
新しいボランティアのかたち  
SDGsとボランティア活動



ボランティア春講座が、3月19日(土)午後2時～4時、あじろ公会館の階第一展示室で相模原市社会福祉協議会と共催のかたちで開催された。

開会挨拶で、高橋会長が「相模原市が2020年にSDGsの未来都市に選ばれ、市の未来設計図としての基本構想が作られました。この構想の実現にはボランティアの存在がなくてはならない」と語りながら、市SDGs推進室の榎本副主幹を招き、「まず、まず、SDGsとボランティア活動」についてお話をいただきました」と述べた。

★「SDGsとボランティア活動」  
講師 榎本幸一さん

(市SDGs推進室副主幹)

「最近ナリウヤハのSDGsを聞いたところのある人は増えています。でも実際どうなのかを学ぶのがなかなか、まだ理解度が足りていないので、まず学びたいです。誰一人取り残さない持続可能な社会の形成を目指す運動で、具体的には海洋汚染(プラスチックごみなど)を減らし、気候温暖化の阻止、食糧危機の問題などに取り組んでいます。」



受講生は熱心にスピーカーの言葉に耳を傾けていらっしゃいました!

運動は国や大企業が取り組むだけではなく、われわれ一人ひとりも実践していかないと大事です。例えば、廃棄物を減らす、食品ロスを減らすなど、また7人に1人が貧困家庭の子どもがいるといわれる現状では、「子ども食堂」はなくてはならない、ここからSDGsの活動を推進するためには何よりボランティアが必要不可欠になります。我々は貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る、地球を救う最後の世代にも成り得るかもしれない」と、講義を締めくくられた。

進行役の西本さんから、SDGsを実現している新しいボランティアのかたちとして、すでに活動しているこのグループの方が紹介され、グループの立ち上げまでの経緯や現在の様子などが披露された。

★「子ども食堂」みんなの食卓がじみ  
中島電平江さん

子どもたちの元気な姿と成長していく姿を見られるのが楽しいし、何より「おいしかったよ」と言ってくれるのが嬉しいですね。学校の先生たちも時々様子を見に来ています。

★「無料塾の学校」 木谷公二郎さん

勉強を教えるだけでは貧困から子どもを救えないなどの問題もあり救うのは難しい。今までは、学校で手が回らない分、地域で補ってあげようと思っていたけど、それだけではすまなくなっていると感じています。勉強は教えられるけど、人によっては運動に携わるボランティアもありますので、ぜひ参加してください。

★外国籍の方へのボランティア活動  
「ながみほの国際交流ボランティア運営機構」

高嶋俊政さん

「外国人支援」「情報提供」「国際交流」の3つの柱を基に、外国人が日本人と共に生きる「環境つくり」を目指して活動しています。

語学や防災の知識を生かしたい、パソコンで情報を伝える仕事をしたい、異文化交流を推進したいなど希望のある方は、ラインに連絡ください。

誰も置き去りにしない、みんな違ってみんないい、SDGsの掲げている17目標のうち4番目の「目標」に係るボランティア活動を行っています。

★福祉連送活動(HC) 加藤修さん

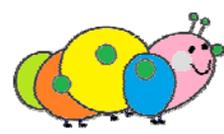
ひとりでは外出困難な人への外出援助をする福祉連送活動を行っています。運転ボランティアをするには、国土交通省の講習を受けなければならないですが、受講料は協会負担です。運転ボランティアとしてポイントを貯める、自分が利用する側になった時には、無償でHCを利用できるポイント制度があります。

★傾聴ボランティア活動 松原俊さん

高齢者、障がい者を問わず、外部の人との接触機会が少なく、話をしたくても機会に恵まれない方が対象です。傾聴のやり方を一通り学んでから個人1組で個人宅に訪問し話を聴きます。「本当に友達になれた」と言われたときは本当に嬉しいですね。

お話しを一通り聞き終わった後、受講生の方は、発表した講師の席に出席して質問する時間が設定された。この様子を見ていると、皆さんの関心の高さや真剣さが伝わってきた。今回は時節柄Zoomを利用したオンライン参加の方もいた。

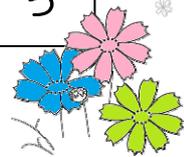
新しいボランティアのかたち、見つかると良いのだが！ (山崎)



市内活動グループ訪問記



「ほっと」な笑顔のグループ  
「Japha」



3月29日（火）午後、見送りを迎えた校を遠くへ近くに眺めながら中央区緑が丘にある特定非営利活動法人「ほっと」にお邪魔しました。利用者の皆さんがこれから散歩に出かけるといふ笑顔で迎えてくれました。近頃は度々緑道が荒れ、その体力に合ったお散歩が出来ない。静かになった建物の2階で所長の道上智子さんと話を伺いました。

【ご利用のような施設なのですか】

支援学校を卒業した人たちのその後の日常を支援しています。

【職員さん・利用者さんは何入らうとしゃべりますか】

職員は80名、利用者様は約100名ですが、4月から利用者が増えそうです。

【Japhaの歴史や活動は】

2000年で35周年を迎えました。1990年に「生かがいホーム」がスタートして特定非営利活動法人「ほっと」に発展しました。この「ほっと」は他に同じ中央区にある「ほっとホーム」「あすのこ」の4つの事業所です。



所長の道上さん



【毎日の課題はどのようなことですか】

月曜から金曜日の8時30分にグループホームや施設まで車いすで行きます。9時30分までにはおしゃべりが「Japha」に集まっています。

朝の会ではお茶の時間です。おしゃべりをして、出席をとり、天候やニュースの話題や気候について話をします。

午前中は部屋の中での行進やラジオ体操の第一と第二、体をほぐしたり鍛えたりします。週一回は、けやき体育館へ出るための運動もあります。



アンパンマンの原画からピースの色分けを作る職員さん

その後はピースを使ったタペストリー作り、ミサンガ作り、「コロナ禍の今だから欲しいな」をマスク用ストリップ作りなど、めいめい自分の作りたいものをします。これを図柄で聞くお楽しみ会に出ています。ひと月一回イベント的な催しを行います。これも楽しみの一つです。

お茶タイムは、いつもみんなのお気に入りの緑茶をいただきます。近所の決まったお茶屋さんのものを愛飲しています（私たちも美味しいお茶を味わわせていただきます）。

局長は、11時半ごろから準備を始めて楽しいお弁当時間です。

午後は、1時45分まで休憩時間。めいめい好きなことをして過ごして、お風呂をする人もいます。1時45分からは散歩。30分ほどかけて近づく公園

などへ。楽しい場所がこの周には沢山あります。3時20分、帰りの会が終わります。

【毎日の活動と心掛は】

楽しく元気に「Japha」に遊びに来てください。お話が好きな人は会話を楽しみ、お家で過ごすよりもおしゃべりを楽しみたいという心掛けです。「コロナ禍の前と後では色々な変化がありました。普段の活動も一階2階に分かれて少人数で行い、音楽会やイチゴ狩りなどの外出行事も出来ません。だから日々の生活はいつもだけ変わらないようにしています。「コロナについての理解はなかなか難しく最初はマスクを付けることも難しかったのですが今は慣れました。地域の皆さんもあたたかくなってもらってとても感謝しています。ご道中は笑顔で話しかけてください。」  
(小山 植野)



部屋の壁に干支を描いたピースタペストリーが飾ってあります。12支揃うのが楽しみです。

\*特定非営利活動法人ほっと「こすもす」

所長 道上智子  
〒252-0225  
相模原市中央区緑が丘1-34-29  
TEL 042-750-5135



理事会報告

4月9日(土) 理事会(理事7名出席)

1、報告事項

〈広報委員会〉

・先月は若者サポートステーションから8人もの手伝いがあり、印刷もやっていた。

〈ハンディキャップ委員会〉

・運転者交流会を実施し、意見交換を行ったところ、車いすからむ身体介助の講習を希望された。

〈講座検討委員会〉

・3月19日「SDGsとボランティア活動」講座を23名出席で無事終了できた。事務局の皆さんに協力いただいた。新年度の7月9、16、23日(土)に久しぶりに傾聴講座を計画している。また、ケアマネさんへの傾聴利用の説明会を実施したい。

〈DVD制作実行委員会〉

・40周年記念誌を300部制作した。会員に配布する。

〈傾聴委員会〉

4月26日に活動メンバーの情報交換会を計画している。

〈ほかほかふれあいフェスタ〉

5月11日に最初の実行委員会を開催。準備に入る。

2、審議事項

臨時理事会を4月16日(土) 10時から開催し、定期総会に向け、決算・事業報告、2022年度事業計画・予算など議案書の検討を行った。

総会は、5月22日(日) 14時予定

次回理事会は5月22日(日) 総会終了後



ボランティア協会 5月の予定

日	時間	内容
8(日)	13:00~	HC委員会
10(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
13(金)	14:00~	講座検討委員会
17(火)	10:00~	DVD制作実行委員会
21(土)	13:00~	事務局委員会
22(日)	14:00~	通常総会
22(日)	総会后	定例理事会
23(月)	13:00~	ぼら通5月号印刷
24(火)	13:00~	ぼら通5月号発行

ご案内

通常総会の案内

2022年度の通常総会を次の通り開催します。正会員の皆様には開催通知と議案書を同封いたします。

日時 5月22日(日) 午後2時~4時

会場 あじさい会館6階展示室

議事 ①事業報告 ②会計報告

③役員選出 ④事業計画案

⑤予算案

※年に一度の大切な総会ですので、是非ともご出席くださるようお願いいたします。

理事一同

5月の記念日は?

小倉義男

5月9日、アイスクリームの日です。

社団法人日本アイスクリーム協会が1965年に制定。その前年の1964年のこの日に東京アイスクリーム協会が記念事業を行い、諸施設へアイスクリームをプレゼントしたことから、翌年から「アイスクリームの日」として、各種のイベントを実施するようになったそうです。なお、アイスクリームの日由来として、1869年に町田房蔵が横浜の馬車道通りに開いた「氷水屋」で日本初のアイスクリーム「あいすくりん」が製造・販売された日であるという説が一般に流布していますが、これは5月9日ではないそうです。



小倉画

再掲

会員登録のお願い

今年度の会員登録が4月1日から始まりました。引き続き会員登録の更新をよろしくお願ひします。

あじさい連絡所または郵便振込で更新手続きができます。

1住所等、登録内容に変更のある方は併せて1連絡ください。事務局



ハンディキャブ活動者交流会

石関 凌美

3月19日(土)10時よりハンディキャブ活動者の交流会が開かれました。参加者はHCCのドライバーさんと事務局の方合わせて二十一名。マスク、消毒と十分にソーシャルディスタンスを取り準備万端 加藤修HCC委員長の挨拶で始まりました。

前半は研修、後半は交流会でした。まず、AEDの使用法を動画を見て学びました。心臓マッサージが大切な事でした。

次はボランティア協会のDVDでHCC事業に関するところを観ました。日頃、私達が行っている運行に関する業務を再確認する事が出来ました。

最後にアルコール検知器導入について委員長から説明を受け、下里委員による検知器の使い方を実物を使って説明を受けました。協会では4月1日より実施するとの事。運行の出発時と運行終了時に計測し記録しておくそうです。面倒ですが安全第一でものね。

検知器がドライバーさん一人一人に渡されました。



休憩を挟んで交流会です。

参加者が2つのグループに分かれて意見交換。運転するにあたっての心構えや又利用者さんとの信頼関係を作る工夫、日ごろ困った事やエピソードが次々と出る中、ベテランのドライバーさんからのアドバイスがあったりと和気あいあい。アツという間に時間になってしまいました。

最後に参加者全員の意見として2つの要望が出されました。

交流会を度々開いて欲しい事。

車いすの扱い方などの勉強会を開いて欲しいとの事でした。

短い時間でしたが熱気の有る会でした。



アルコール検知器が一人一人に!



相模原市精神保健福祉審議会の書面開催に参加

はねだ ひさし 羽田 彌

去る3月14日に書面にて開催された標記の審議会に参加しました。

議題は「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進に係わる取組について」でした。

地域包括ケアシステムとは医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労など)、地域の助け合い、教育など包括的に確保されることです。

ご報告

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団の理事会に参加

しぶや ひさみ 渋谷 久美

4月1日、社会福祉法人相模原市社会福祉事業団の理事会に同団体の「監事」として出席いたしました。

令和4年度からの常務理事の選定、報酬の改定について話し合わせられました。また、新任監事として紹介の場をいただきました。

ほらんていあ通信版 ツイッターコーナー

つねあし れいこ 恒藤 玲子

イギリスのエリザベス女王がウクライナ難民のために寄付をなど、世界中の人々がウクライナの現状に心を痛めています。

スウェーデンの調査機関のリポートによると「2019年の世界における、世界の民主主義国・地域は87、非民主主義国は92となり、18年ぶりに民主主義国が少数派になった」とのこと。

人口では世界の人口トップ10の国のうち7カ国が民主主義国家ですので、民主主義陣営の方が少し多くなることですが、非民主主義国家の方が多いとは想像外でした。

イギリスの元首相ウィンストン・チャーチルの「民主主義は最悪の政治形態らしい。ただし、これまでで試されたすべての形態を別にすればの話である」という言葉には考えさせられます。

ウクライナから難民として来日された方々が、一日も早く日本で落ち着いた生活ができますように願ってやみません。



# ボランティアさん募集！

🌸一緒に障がい福祉のイベントを盛り上げませんか？♪

- 内容 ◆運営支援（会場誘導係、検温係、消毒係など）  
◆障がい当事者を含めた参加者と一緒にけん玉を楽しむ  
※使ったけん玉は、ボランティアさんにプレゼント！！
- 依頼者 NPO 法人けやきの会
- 日時 令和4年5月14日（土）  
午後12時30分～4時
- 場所 あじさい会館1階ホール  
（中央区富士見6-1-20）
- 募集人員 若干名（希望者が多い場合は、  
抽選になる可能性があります）
- 持ち物 動きやすい服装



連絡・問い合わせ先  
相模原ボランティア協会あじさい連絡所  
電話 042 (759) 7982  
相模原市社協 中央ボランティアセンター  
電話 042 (786) 6181  
メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



イベント概要：障がいのある人も、大人も子どもも参加し、一緒に楽しめる共生社会の実現を目指して開催するお祭り「共にここから☆けやきROCK2022」。全国から寄付してもらったけん玉150本を使った交流やものまね芸人のショー、精神障がい当事者のスピーチなどを行います！  
～どなたでも気軽に遊びに来てください！～ ※企画参加者にもけん玉のプレゼントがあります



山口尚美画

《今月のイラスト》  
…幸せなひと時《



コロナ禍も  
ウクライナも  
早く平安に

イイネ！！  
すばらしい活動されて  
いることを知りエネルギー  
いただきました！！  
ありがとう

南区地域福祉交流フロンティアの「フロンティア月間」に参加し、協会PRパネルの下には「イイネ」コメントをいただきました。

## 編集後記

新型コロナウイルス変異株オミクロン「X」が確認され、いつになったら「X」が確認されるのでしょうか。  
今年も桜を見るのができ、また映し出された桜のテレビを見て、以前行った場所だったり、初めて目にする場所だったりと幸せを感じます。  
また、ロシアのウクライナ侵略のため世界的な食糧危機で、日本は小麦の約9割を輸入しているパン、麺類など幅広い食糧が値上がりしています。とても心配です。(H)

## ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<3月の寄付者>  
29名の方からご寄付をいただきました。

<3月の寄付金>  
事務局募金箱 (8,442円) も含め総額 109,032円でした。